



JUIDA SCHOOL AWARDS 2022

スクール活動内容 応募資料

vol.2

JUIDA SCHOOL AWARDS 2022

◆ 活動内容応募資料 [vol.1]

【理事長賞】 NEXAIRS DRONE ACADEMY (株式会社 Five Star Group)

【特別賞】 Ocean One Drone School (合同会社オーシャンワン)

星翔高等学校ドローンスクール (学校法人浪工学園)

【感謝状贈呈校】 *順不同

◆ 活動内容応募資料 [vol.2]

- ◇ 関西ドローン安全協議会 大阪スクール (一般社団法人関西ドローン安全協議会)
- ◇ 福島ドローンスクール (株式会社スペースワン)
- ◇ D アカデミー関東埼玉校 (株式会社ジュンテクノサービス)
- ◇ 名古屋守山ドローンスクール (株式会社イデオル)
- ◇ 西九州ドローンフライトアカデミー (株式会社T SW)
- ◇ MTC ドローンテクノポート神戸・熊谷 (株式会社ミラテクドローン)
- ◇ 那加ドローンスクール (株式会社那加クレーンセンター)
- ◇ レインボードローンスクール埼玉 (埼玉スクール会場) (株式会社ホンダレインボーモーター
スクール)
- ◇ 横浜ドローンアイティイー・スクール (ドローン・アイティイー株式会社)
- ◇ 能登七尾ドローンスクール (有限会社七尾自動車教習所)
- ◇ ドローンX アカデミー下関校 (エックス・ワン株式会社)

◆ 活動内容応募資料 [vol.3]

- ◇ チューリップテレビ ドローンスクール (株式会社北陸チューリップ)
- ◇ WHOOPS! ドローンスクール 江別校・札幌校・旭川校 (株式会社 Yellow Buck)
- ◇ 奈良自動車学校ドローンスクール (株式会社奈良自動車学校)
- ◇ IDS 池上ドローンスクール (株式会社 I D S)
- ◇ DS ドローンスクール大阪 (合同会社 Drone System)
- ◇ 東京ドローンアカデミー (株式会社セピアコーポレーション)
- ◇ 那須ドローンスクール (川田建設株式会社)
- ◇ ODC ドローンスクール (株式会社 ODC)
- ◇ PAS ドローンスクール大阪 (パシフィックエアサービス株式会社)
- ◇ soramichi ドローンスクール (株式会社大光)

「JUIDA SCHOOL AWARDS2022」スクール活動内容 応募資料

スクール名（法人名）一般社団法人関西ドローン安全協議 大阪スクール

・タイトル

操縦スキル向上こそ安全へつながる

・応募内容要旨

ドローン操縦者の多くが、GNSSに補助されたフライトをされており、空中で動作するマルチローターの恐怖をご存じではないように感じる。
いかに、操縦技術が大切かを知ってほしいとの思いでスクールを開催しております。

<座学>

法律：多くの事例紹介

技術：分解模型を見せて、主要構成部品の説明をしている。

バッテリーの取り扱いについては、取り扱いを間違えるとこうなる「実物」を見せて同時に、発火事例などの映像を見せて記憶に留めていただく。

最新のスマホアプリ等の紹介

安全運行管理：ヒヤリハットの紹介・事故事例紹介・飛行計画書作成例紹介

受講生の方が、何を知りたいのかを察知して、応用時間を設ける。

シュミレーターでは、シングルローターも経験していただく。

<実技>

受講生の人数と同数の機体（最大7コース可能）を準備。

講師数は、ほぼマンツーマンでの指導ができるようにする。

着陸時の安心感をもっていただけるように、オリジナルの補助具を機体に装着している。

不安定な機体で練習していただき、「宛舵」を習得して頂く。

マスター講師は、講師の指導方法を逐次チェックして、補助する。

受講生の方が、どうすれば動かせるようになるかのヒントを探り続ける。

できるようになった「喜び」を共有する。

保持装置（あめんぼ君）写真



・アピールポイント

審査基準である、以下の 5 つのポイントを意識して、アピールポイントを記入してください。1. 独自性／2. 先進性／3. 創意工夫／4. 受講者視点／5. 安全教育の視点

「JUIDA SCHOOL AWARDS2022」スクール活動内容 応募資料

スクール名（法人名） 福島ドローンスクール

・タイトル

～スクール修了からが本当のスタート～ 修了レポート（成績表）の提供

・応募内容要旨

福島ドローンスクールでは、受講された皆様の修了レポートを作成しています。筆記・実技試験の結果、受講中に口頭で伝えている注意事項などを記載し、総合的に可視化することで、スクールを振り返り、継続的な知識の習得・操作技術の練磨・安全運航への取り組みに生かしていただけるようにと考え、ひとりひとりにレポートを提供しています。

・アピールポイント

受講中に様々なアドバイスを受講生に伝えているものの、受講生は慣れない操縦に集中している為、聞き流してしまう様子が見受けられていました。受講生からもミスの内容・受講状況を踏まえた具体的なアドバイスがほしいという意見もあり、スクール修了後にレポートを作成しお送りしております。


レポートは座学・実技実習の様子、及び試験結果に基づき各項目を数値化し、改善が必要な項目についてはコメントを記載することで、受講生自身が今後改善すべきポイントや講習中の内容を振り返ることが出来るようにしました。

最後の講師・学校長コメントは、受講生それぞれの方向性と特徴に合わせつつ、今後の一歩目を後押しするような言葉選びを心掛けています。

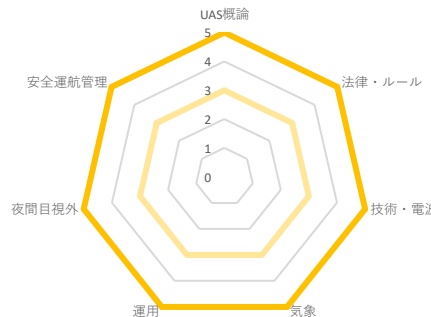
受講生からも好評頂いており、「このレポート内容をスタート地点として、慢心することなく安全運用を心掛けたい」というお言葉を頂いております。

審査基準である、以下の 5 つのポイントを意識して、アピールポイントを記入してください。1. 独自性／2. 先進性／3. 創意工夫／4. 受講者視点／5. 安全教育の視点

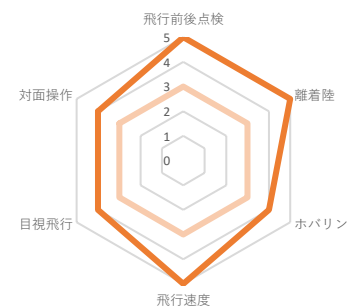
福島ドローンスクール修了レポート

氏名	福島 度論	修了日	2022年7月30日
受講コース	JUIDA総合プロコース 72期生		
試験結果	合格		
総合評価	4.67 点		

項目	評価	コメント
座学	UAS概論	5 大変よく理解している。
	法律・ルール	5 大変よく理解している。
	技術・電波	5 大変よく理解している。
	気象	5 大変よく理解している。
	運用	5 大変よく理解している。
	夜間目視外	5 大変よく理解している。
	安全運航管理	5 大変よく理解している。

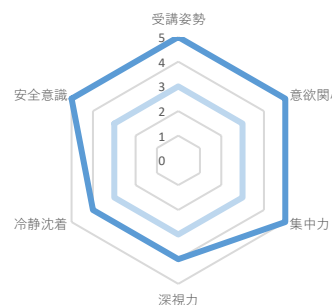


実技	飛行前後点検	5 大変良く出来ていた。
	離着陸	5 大変良く出来ていた。
	ホバリング	4 力が入ってしまうことがありましたので、肩の力を抜きリラックスして繊細な操舵が出来るようにしてください。
	飛行速度	5 大変良く出来ていた。
	目視飛行	4 よく出来ていた。
	対面操作	4 機体の向きに対して正しい操舵が出来るよう、引き続き訓練を行ってください。





※座学・実技試験の結果に基づいて評価しております。

総合評価	受講姿勢	5 大変よい姿勢だった。
	意欲関心	5 受講中の質問が絶えず、とても意欲を感じました。
	集中力	5 受講中、試験中ともに高い集中力を見せていた。
	深視力	4 今後もトレーニングに励んで下さい。
	冷静沈着	4 冷静に対応出来ていた。
	安全意識	5 大変良く意識していた。




※講習の様子に基づいて評価しております。

 講師A	<p>担当講師</p> <p>座学講習から意欲を感じる受講姿勢であり、今後の運用を想定されたご質問も多く、こちらも講義に熱が入りました。操縦においても安定した飛行が出来ておりました。対面時は多少ふらつくところが見られましたので、機体の向きに応じた適切な操舵が出来るように引き続き訓練を行って頂きたいと思っております。今後の現場でのご活躍を祈念しております。</p>
---	--

 講師B	<p>学校長</p> <p>当スクールに入校して、ドローン操縦に関する知識・操縦技術を短期間での修得でしたが、大変お疲れ様でした。予想以上に大変だったことと思います。今回学んでわかったことは、自動車以上に操縦者の技術と正しい知識、安全性に対する姿勢が求められるのだと感じて頂けたと思います。福島さんの確認の適格性・落ち着いた操縦性は立派でしたね。安全第一を最優先に町民の負託にドローンで応えてください。素晴らしいドローンパイロットになることでしょう。ありがとうございました。</p>
---	---

【注意事項】

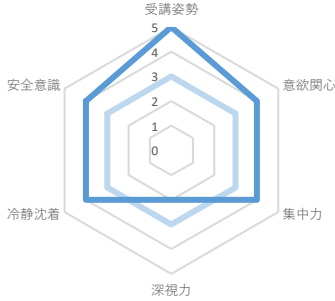
福島ドローンスクール修了レポート

氏名	郡山 航機	修了日	2022年6月4日
受講コース	JUIDA総合プロコース 71 期生		
試験結果	合格		
総合評価	3.83 点		


項目	評価	コメント
座学	UAS概論	4 利用拡大には、技術的課題と制度的課題があります。制度的部分は今後も改正がありますので、最新の情報収集に努めてください。
	法律・ルール	5 大変よく理解している。
	技術・電波	5 大変よく理解している。
	気象	5 大変よく理解している。
	運用	5 大変よく理解している。
	夜間目視外	5 大変よく理解している。
	安全運航管理	5 大変よく理解している。


実技	飛行前後点検	4 プロポの電源を入れる前に、プロポのアンテナを忘れずに立ててください。
	離着陸	5 大変よく出来ていた。
	ホバリング	4 少し強引な感じは有りましたが、比較的安定しておりました。
	飛行速度	4 よく出来ていた。
	目視飛行	2 モニターを注視し過ぎておりましたので、機体及び機体周辺の状況把握を忘れずに行ってください。
	対面操作	3 若干操縦ミスがありましたので、訓練を重ねて自然と制御できるようにして下さい。

※座学・実技試験の結果に基づいて評価しております。

総合評価	受講姿勢	5 大変よい姿勢だった。
	意欲関心	4 業務での活用を想定したご質問が多く、とても意欲的でした。
	集中力	4 集中出来ていた。
	深視力	2 モニターによる監視になりがちですので、意識的に訓練を重ねて下さい。
	冷静沈着	4 冷静に対処していた。
	安全意識	4 よく出来ていた。
		

※講習の様子に基づいて評価しております。


 講師A	<p>実技試験の結果から申し上げますと、全体的に目視外飛行になっておりが、機体は安定していたと思います。</p> <p>今後の運用が送電線の点検と、非常にリスクが伴う飛行になると思いますので、時には飛行を中止にする判断も大切だと思いますので、安全運用をお願い致します。4日間大変お疲れ様でした。</p>
---	---

 講師B	<p>無事、高得点で終了されたこと、誠におめでとうございます。</p> <p>郡山様の人柄と仕事柄、電気と高所という非常に危険な所の作業に従事するという事で、その姿が受講姿勢に出ており素晴らしかったです。業務に活用されるという事なので、ドローン運用規定を策定され、管理兼操縦者として立派な上司になれることでしょう。貴社のますますご清栄と郡山様のご健勝とご活躍をご期待申し上げます。ありがとうございました。</p>
---	--

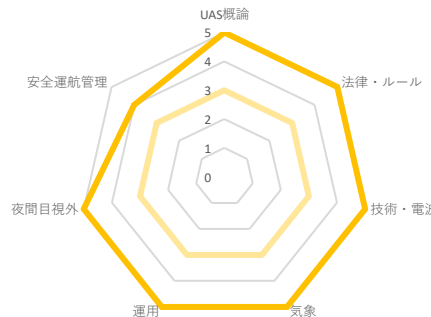
【注意事項】

今後の訓練では目視飛行を意識的に行ってください。運用上目視外飛行が必要となった場合は、周囲の安全確認を行い、適切な高度や機体のズーム機能等を駆使しながら、対策を行ってください。

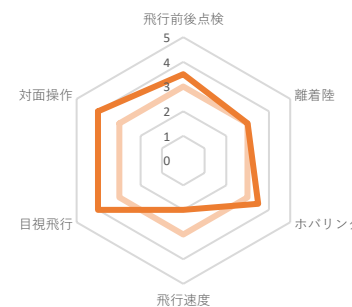
福島ドローンスクール修了レポート

氏名	香久池 空美	修了日	2022年3月26日
受講コース	JUIDA総合プロコース 68期生		
試験結果	合格		
総合評価	4.00 点		

項目	評価	コメント
座学	UAS概論	5 大変よく理解している。
	法律・ルール	5 大変よく理解している。
	技術・電波	5 大変よく理解している。
	気象	5 大変よく理解している。
	運用	5 大変よく理解している。
	夜間目視外	5 大変よく理解している。
	安全運航管理	4 航空安全3原則を再確認し、安全意識を持って飛行させて下さい。

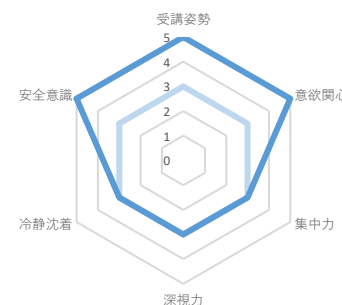


実技	飛行前後点検	3.5 緊張のせいか、全体的に焦ってしまい、手順を忘れがちでした。もう一度事前点検リストを見ながら一つ一つ確認を行って下さい。
	離着陸	3 機体が安定しないまま着陸態勢に入ってしまった事が原因で、不安定な状態になっておりました。
	ホバリング	3.5 緊張が影響で、機体の制御が不安定でした。練習の様子を見る限りは出来ていたと思いますので、落ち着いて操作して下さい。
	飛行速度	2 制限時間を気にしていたせいか、全体的に少し強引なスピードでした。飛行本番も緊張すると思いますので深呼吸してみてください。
	目視飛行	4 よく出来ている。
	対面操作	4 よく出来ている。





※座学・実技試験の結果に基づいて評価しております。

総合評価	受講姿勢	5 大変よい姿勢だった。
	意欲関心	5 わからないことをしっかり解決できていました。
	集中力	3 緊張から集中力が低くなっていました。
	深視力	3 今後もトレーニングに励んで下さい。
	冷静沈着	3 緊張からミスが目立ちました。
	安全意識	5 よく意識している。



※講習の様子に基づいて評価しております。

担当講師	 <p>講師A</p>	<p>座学では積極的に質問もいただき、理解度も十分でした。</p> <p>実技では特に操作面で苦勞されていましたが、今後の課題として日々練習を重ねていただき、AIR2Sを使いこなせるようにアプリ設定からじっくり学んでいってください。</p>
------	--	--

学校長	 <p>講師B</p>	<p>最後の座学試験で立派な成績を取られたことを嬉しく思います。</p> <p>ご苦勞されていた操縦面ですが、体力的にも大変だったかと思います。同世代として気持ちも理解できますし、同じ経験をされている方は多くいらっしゃいます。本講習で学んだ知識を深め、マイドローンで操縦技術を磨き、今後も一緒に成長していきましょう。</p>
-----	--	--

【注意事項】

操作についての課題は多く、継続的な練習が必要です。

Pモードでも機体のスピードを一定に保ち、無駄な動きを減らした操作を心掛けてください。

「JUIDA SCHOOL AWARDS2022」 スクール活動内容まとめと応募資料

スクール名：D アカデミー関東埼玉校（株式会社ジュンテクノサービス）

タイトル

卒業から1年間、「思い出し講習」を無料で受講できる！

応募内容要旨

JUIDA 認定の無人航空機操縦技能資格と安全運航管理者証明資格を取得済みの埼玉校を卒業された卒業生様に向けて、1年間は座学・実技の振り返り受講を無料にて提供。

アピールポイント

1、独自性

埼玉県内では、屋内練習しか行っていないスクールさんもあるため、自校ではなるべく雨風がない限りは、目一杯の屋外練習を距離・高さともに広々使うよう心がけています。思い出し講習で練習にいらした方にも、現場に近い状況で飛ばせるよう D アカデミーアライアンスで提供している追加カリキュラムを利用しながら練習していただいています。

2、先進性

思い出し講習にいらした卒業生様には、自社で展開している水中ドローンの現場活用についてもお話ししたりしているため、両方の民間資格を受講されている方が増えています。まずは来校していただき卒業生様の現場を把握、その上で必要なスキルを先回りして取り入れるようにアドバイスしています。

3、創意工夫

コロナ禍において卒業後に相談をしたり、自己練習ができない日々が続く卒業生様に向けて個別に連絡を取り合い、座学講座を聞き直していただいたり、実技は会場の予約日程に合わせてお越しいただき、会場にて自己練習を重ねていただきました。

4、受講者視点

埼玉県内では技能練習できる場所が限られていること、社会人で忙しい時間が多い中、月に1度でもいいから練習日を設けたいという声をいただいて実施しました。座学は操縦練習と座学と繰り返し受講することで、理解が深まるものですので、1度聞いた以上に生徒様が首を縦にふっている場面が多いです。

5、安全教育の視点

安全運航管理は、何度受講してもいいものとお伝えしています。現場に出て、実際に運用をし、再度受講して、理解を深める、ということを繰り返し伝えています。操縦練習の日も近くに講師が一人たってはいるので、質問やコツがわからなければ聞くことができ、“講師がみている“ことで、さらに安全運用を心がけながら練習できています。

ひとこと

2017年から開講して、さまざまな意見をもとに創意工夫して生徒様の気持ちを一番に続けてまいりました。今期だけでもかまいません、講師全員 JUIDA 認定ドローンスクールとしての誇りがあります、頑張ってきたスタッフと一緒に D アカデミーという看板で絶対にアワードを取りたいです。

宜しくお願いします！！！！



「JUIDA SCHOOL AWARDS2022」 スクール活動内容 応募資料

スクール名（法人名） 名古屋守山ドローンスクール（(株) IDEOL）

・タイトル

VTOL（垂直離発着機）自動飛行講習への準備活動

・応募内容要旨

VTOLがドローン物流の本命になると予想して準備活動を開始し、今年4月にアリゾナ州でVTOL開発状況調査及び調達するVTOLの仕様調整を行なった。7月に開始した国交省の河川上空ドローン物流実証に関する公募に応募し採択された。

・アピールポイント

官民協議会の2022ロードマップに先行して河川上空飛行を計画し国交省公募への応募内容には、VTOL自動飛行講習を含めた。国交省が河川上空利用マニュアルを作成しても社会実装には操縦者や対応出来る機体の調達が必須となる為、これに対するソリューションの提案を兼ねて居り、Japan Drone展で公表した。また、同時期の航空法改正に関わる意見募集にも関連する提案を航空局宛に行なった。

審査基準である、以下の5つのポイントを意識して、アピールポイントを記入してください。1. 独自性／2. 先進性／3. 創意工夫／4. 受講者視点／5. 安全教育の視点

応募様式

1. 応募者情報		
団体名 (地方公共団体／事業者／河川管理者名)	株式会社 I D E O L	
部署名	代表取締役	
担当者名	中野 克則	
電話番号	0 8 0 - 5 0 6 1 - 8 8 7 7	
メールアドレス	katsunori.nakano@ideol.sakura.ne.jp	
2. 関係者情報 ※関係機関が複数ある場合は行を追加してご記載ください		
河川管理者	河川管理者名	中部地方整備局 庄内川河川事務所
	部署名	庄内川第二出張所
	担当者名	檜山 孝雄
	電話番号	0 5 2 - 9 0 1 - 5 9 4 4
	メールアドレス	syounai2-kyoninka@giaps.or.jp
地方公共団体	地方公共団体名	春日井市
	部署名	産業部企業活動支援課
	担当者名	主任 安永 陸人
	電話番号	0 5 6 8 - 8 5 - 6 2 4 7
	メールアドレス	kigyo@city.kasugai.lg.jp

応募様式

1. 対象河川名

庄内川水系庄内川 吉根地区～庄内緑地公園地区

(位置図)



2. 対象河川での配送実績／実証予定

- 2022年9月 吉根地区～庄内川大橋にて、無人移動体画像伝送システムで試験飛行 (EV0350)
- 2022年10月～12月 吉根地区～庄内緑地公園地区にて、物品の配送実証を実施 (EV0350)
- 2022年10月～12月 吉根地区～庄内川大橋にて、練習機フライト試験を実施 (VTOL 練習機)
- 2023年1月～3月 吉根地区～庄内川大橋にて、自動飛行を中心とした VTOL 操縦講習を開始
- 2023年1月～3月 吉根地区～庄内緑地公園地区にて、物品の配送実証を実施 (OCTAVIAN)

(参考) 上記の詳細を示す資料 (任意様式)

A. 使用する機体

- ① EV0350 (Lift&Cruise 型垂直離発着機・翼幅 : 3.5m)
米国アリゾナ州ツーソンのドローン製造会社 Delta Zee Solutions LLC が中国の工場に機体の製作を委託。アリゾナ州スコッツデールの SpektreWorks 社でフライトコントローラを含む電子機器を搭載した。米国では Herelink 社製通信機器でのテストフライト済で、無人移動体画像伝送システム (TKK Works 社製) 搭載後、日本に現在輸送中。ドローン登録システムには登録済 (JU4226673D45)
- ② VTOL 練習機 (SpektreWorks 社製 / 日本に現在輸送中。ドローン登録システムには未登録)
主に自動飛行で使われる (緊急時には手動に切り替え) VTOL の練習機で、弊社ドローンスクールでの実技講習に使用する見込み。ウクライナ兵の訓練の為にポーランドでも使用された。
- ③ OCTAVIAN (Lift&Cruise 型垂直離発着機・翼幅 : 3.5m と 6m の 2 モデル / 添付資料参照)
米国国防省補助金で開発。3.5m モデルは開発済で、6m モデルは開発最終段階。偵察と物資輸送を目的としているが、米国海軍が西太平洋での海上自衛隊との共同運用を検討している。(フェニックス市に開発拠点を持つ Indigo Industries 社が開発を担当。同社とは本件について交渉中。)

B. 実証実験の目的

- ① VTOL への物品搭載による飛行性能への影響を長距離での飛行により検証すると共に無人移動体画像伝送システムと Herelink 社製通信機器への切り替えを離陸地点と着陸地点で円滑に行う手順を確認する。
- ② OCTAVIAN に関しては 3.5m モデルでの日本での飛行実績を確保することで、ハイブリッド推進方式の 6m モデルを河川経由から海上を移動する船舶へ将来物資輸送する実証への 1 ステップとする。
- ③ 庄内緑地公園地区については吉根地区のドローン飛行場からの 10km 程度であることから選定した。

3. その他ドローンの飛行実績／予定

EV0350、VTOL 練習機、OCTAVIAN 共に米国での飛行実績のみ。
尚、9月の試験飛行に関して河川敷一時使用届を添付した。



OCTAVIAN - Autonomous Resupply VTOL UAV



Benefits

- **Facilitates Contested Logistics Operations**
- **Runway Independent**
- **Standardized Payload Pallets**
- **Reduced Manpower**
- **Multi Mission Capable**
- **Payload Agnostic**

As the US military pivots towards distributed operations in contested environments, the need to rapidly transport cargo between decentralized operating bases has never been greater.

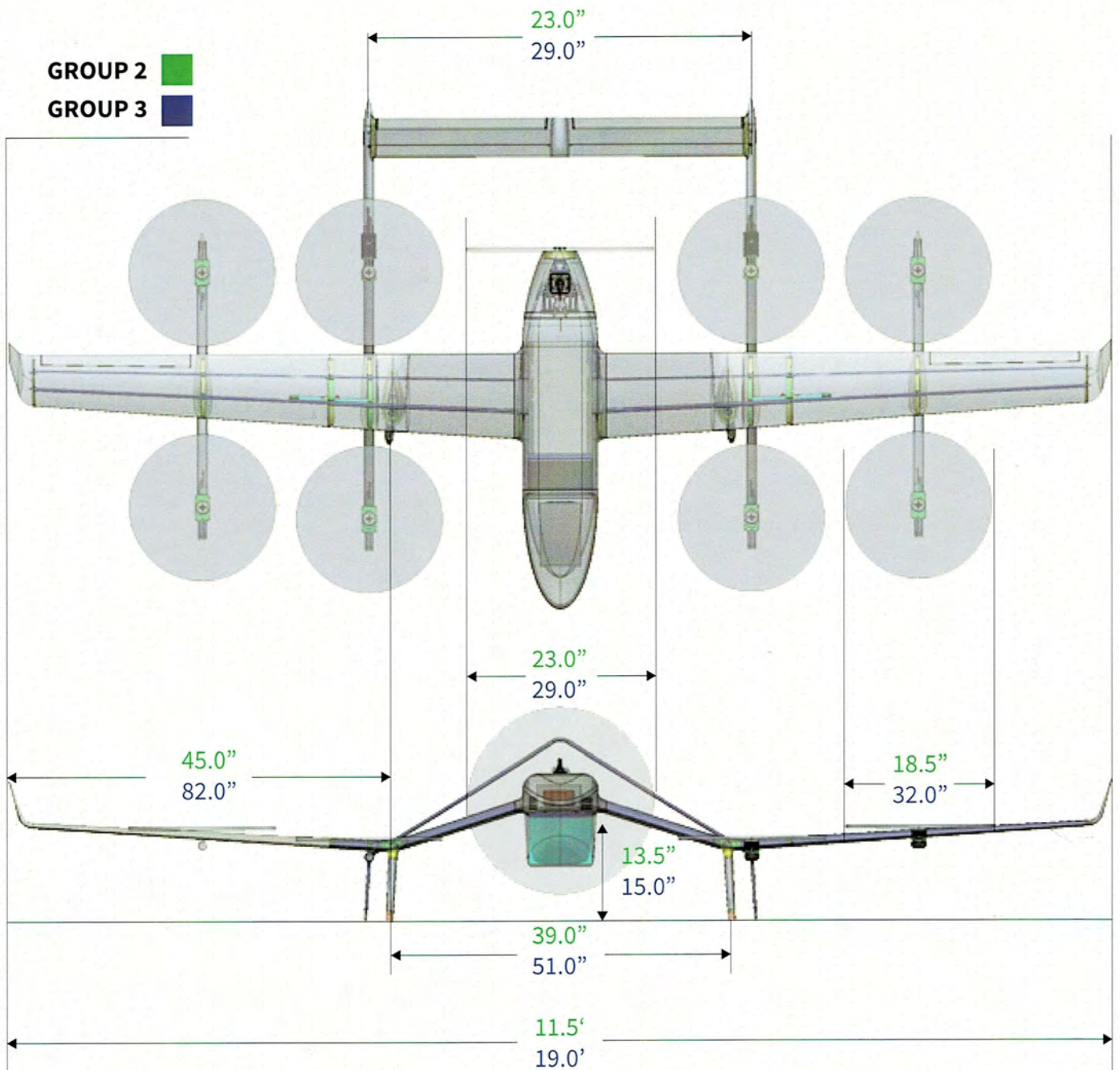
Octavian is a low-cost, vertical takeoff and landing UAV specifically designed to autonomously deliver payloads of up to 50 pounds to remote locations with very little infrastructure.

Based on the mission profile, payloads can be air dropped in flight or detached upon landing. In both cases the cargo is secured with a standard pallet and net system.

In situations where additional ISR assets are needed, Octavian can be quickly reconfigured with a variety of ISR sensors and special mission payloads.



GROUP 2 ■
GROUP 3 ■



CHARACTERISTICS

GROUP 2

GROUP 3

Gross Take Off Weight
Useful Load
Wingspan
Range
Endurance

55 lb
 8.3 lb
 11.5 ft
 200 nm
 3.4 hr

190 lb
 54 lb
 19.0 ft
 550 nm
 12.5 hr

株式会社 IDEOL
 連絡先：052-781-8027
 メール：info@ideol.sakura.ne.jp

(表面)
番号 _____

河川敷一時使用届

令和 4年 8月 22日

庄内川河川事務所
庄内川第二出張所長 殿

住 所 名古屋市中区栄5-26-39 GS栄ビル3F

届出者 株式会社IDEOL

代表者氏名 中野 克則



下記のとおり河川敷の一時使用について届出ます。

連絡責任者 (緊急時等)	氏 名：中野 克則 電話番号：080-5061-8877
1. 河川の名称	庄内川 水系 左岸/右岸河川敷を含む上空 (吉根橋と庄内川大橋の間)
2. 使用場所	庄内川左岸のドローン飛行場(吉根大字小屋前)から離陸後河川上空約100mの高度で飛行後居り返し、ドローン飛行場に着陸
3. 使用目的 及び内容	ドローン物流の実証の為、VTOL(垂直離発着機)を主に目視の範囲内で自動飛行を中心に行う。
4. 使用人数 及び面積	大人 2名(操縦者1名、補助者1名)
5. 使用期間 (予備日)	令和 4年 9月 12日 9時00分から 令和 4年 9月 16日 17時30分まで 令和 4年 9月 26日 9時 0分から 令和 4年 9月 30日 17時30分まで
6. その他	補助者がドローン飛行場以外の河川敷で監視をする場合がある。
7. 添付資料	位置図 ・ 平面図 ・ <u>その他参考となる資料</u> ・ 使用予定のVTOLおよび自動飛行計画例

※提出部数は正1部です。

(裏面)

河川一時使用にかかる遵守事項

河川の使用にあたっては、届け出者は以下の事項を遵守します。

1. この届は、排他独占的な河川使用の許可ではありません。よって、他の河川利用者や沿川地域住民（以下 第三者）との利用調整は十分図り、必要な安全対策を行います。
万一、第三者に被害を与えた場合は、全て届出者の責任において解決します。
2. 河川法、その他関係する法令、条例、規則、慣行等を遵守すること。
3. 本届出の使用目的及び内容と異なる使用はしないこと。
4. 工作物は原則として設置しません。
5. 土地の掘削や盛土など、土地の形状変更を伴う行為を行いません。また、竹木の伐採、土石の採取行為については、原則として行いません。
6. 護岸等の河川管理施設を損傷した場合、速やかに出張所に届出てその指示に従います。この場合における原状回復に要する費用は、全て届け出者が負担します。
7. 河川使用後は、使用場所周辺のゴミ持ち帰りや清掃を行うなど、河川の清潔保持に努めます。
8. 火気を使用する場合は、直火を避け、類焼防止措置をとり、火の始末に十分注意します。また、使用後の焼却灰などは全て持ち帰ります。
9. 気象情報を十分把握し、河川の増水の恐れがある場合は使用しません。
また使用中に少しでも危険な状況が発生した場合は、速やかに河川外に避難します。また、その為の避難経路等を予め確認しておきます。
10. イベント等の駐車場として高水敷への乗り入れはしないこと。

※「雨量」「水位」の情報提供

携帯版 <https://www.river.go.jp/s/xmn0105010/>

インターネット <http://www.river.go.jp/portal/#80>

携帯版QRコード



国土交通省 中部地方整備局 庄内川河川事務所 庄内川第二出張所

名古屋市北区西味鉢二丁目 301 番

TEL 052-901-5944

FAX 052-902-7393

使用予定のVTOLおよび自動飛行計画例



国土交通省 航空局 無人航空機安全課 意見募集担当あて

「航空法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係告示及び通達の制定について」に対する意見

1. 氏名

株式会社 I D E O L 代表取締役 中野 克則

2. 住所

名古屋市中区栄5-26-39 GS栄ビル3F

3. 電話番号

052-781-8027

4. 電子メールアドレス

katsunori.nakano@ideol.sakura.ne.jp

5. 意見

(該当箇所)

無人航空機操縦者実地試験実施基準の「第1章 総則」「1-2」に於いて、実地試験は、無人航空機操縦者技能証明の無人航空機の種類の種類について、回転翼航空機（マルチローター）、回転翼航空機（ヘリコプター）、飛行機としている箇所について

(意見)

官民協議会のロードマップに於いてレベル4を実現する時期に入ったことから先行している米国の状況を把握する為に本年4月にアリゾナ州のフェニックス市周辺のドローン開発製造を手掛けるスタートアップ3社を訪問し確認した処、数年前からは、飛行機タイプ（固定翼タイプ）に垂直離発着用のローターを搭載したL i f t & C r u i s e型のVTOLへの改造や新規開発品が主流となって居ること確認出来ました。

これらVTOLは、国境、沿岸巡視若しくは大型VTOLによる物資輸送が利用目的の中心ですが、手動操作による飛行は、出来るだけ避け自動飛行による方法が推奨されて居ります。飛行機タイプ（固定翼タイプ）からVTOLへのシフトは中国でも進行していることが分かって居りますので、近々日本に於いてはレベル4を含む目視外での長距離飛行についてもVTOLへの需要が高まるか、空撮系以外のドローン利用で世界に普及が遅れを取るかのどちらかの状況が鮮明になって来ると考えています。

弊社は庄内川河川敷のドローン飛行場で実技講習を行なっていますが『VTOLの技能証明に自動車の「オートマチック限定」と同様の自動飛行と緊急時の対応を中心とした技能証明』を加えるべきとの意見を表明致します。

尚、米国で入手した翼幅3.5mの電動L i f t & C r u i s e型のVTOLを庄内川上空で飛行させること準備中であり、その後、同時に入手した練習機でのVTOL自動飛行講座を開設し、諸外国からの産業的に遅延回避に貢献したいと考えています。

以上

150mまで飛行可能

名古屋市内で唯一

名古屋守山ドローンスクール
(JUIDA認定スクール)



ドローン飛行場



飛行練習フィールド(夜間・目視外含む)

Lift & Cruise型VTOLの自動飛行講座
の検討を開始



物流・偵察用VTOL【OCTAVIAN】
日本での利用可能性を調査中



自動飛行計画例



空飛ぶクルマ構想

スクール運営会社 株式会社 IDEOL

名古屋市中区栄5丁目26番39号 GS栄ビル3F
TEL 052-824-7081 e-mail: info@ideol.sakura.ne.jp





受講料 (税込)

2022年3月以降

JUIDA操縦技能コース

【座学1日、操縦実技2日】

230,000円

2名同時申込: 190,000円

3名同時申込: 160,000円

初心者体験講座

20,000円

操縦技能コース受講
で同額の割引

JUIDA安全運航 管理者コース

【座学3時間】

40,000円



4名以上では、個別に対応致します。

※JUIDA証明証の発行申請には、別途費用が掛かります。

3月・8月・12月に学生対象インストラクター養成イベント開催 (操縦技能+安全運航管理者コース50%OFF)



夜間・目視外飛行の大阪航空局への許可承認申請はスクールで行います。



操縦訓練 / 修了試験は通常スクール所有のドローンで行います。



Japan Drone 2022
-Expo for Commercial UAS Market-



**第1回 次世代エアモビリティ
EXPO 2022**



2022.6/21(四) ≧ 23(日) 10:00~17:00 幕張メッセ

名古屋守山ドローンスクール



詳細情報は
ホームページに!

「JUIDA SCHOOL AWARDS2022」 スクール活動内容 応募資料

スクール名（法人名） 西九州ドローンフライトアカデミー
(株式会社 TSW)

・タイトル

次世代ドローンパイロット育成プロジェクト

・応募内容要旨

若年層に向けた、ICT 教育の導入としての取組み
独自でのドローン体験会・講習会の機会を増やし、ドローンに対する知識や興味・関心を
高めてもらうための活動をしていること。

・アピールポイント

毎年、園児(約 100 人超)に対する体験会に、約 2 時間と限られた時間の中で、ドローンのし
くみ説明・ドローンの活用性をわかりやすく、楽しい動画に編集し、プロジェクターを用い
て説明し、ドローン操縦前にもコントローラーの使い方を園児にわかりやすく説明する工夫
をしていること。

審査基準である、以下の 5 つのポイントを意識して、アピールポイントを記入してくださ
い。1. 独自性／2. 先進性／3. 創意工夫／4. 受講者視点／5. 安全教育の視点

“次世代ドローンパイロット育成プロジェクト”

西九州ドローンフライトアカデミー
スクール長 松尾 伸一

当スクールにおいての“次世代ドローンパイロット育成プロジェクト”の活動を紹介いたします。

近年、ドローンを活用しての映像などをテレビ等で目にしたり、また、ドローンを使っての物の輸送実験のニュースを見たり、ドローンによる農薬散布を実際に見たりなど、ドローンというものを目にする機会が増えました。

当スクールでは、幼児期よりドローンをもっと身近に感じてもらおうという目的を掲げ、スクール独自で幼稚園年長児を対象に「ドローン体験会」を開催しております。今年もすでに、園側より依頼を受け、10月に4年目となる「ドローン体験会」を計画しております。

内容としましては、JUIDAの教材内容を参考に、当スクールのJUIDA認定講師による基礎知識を子どもにわかりやすい言葉でドローンというものについて解説し、その内容をもとに動画などを作成します。その動画を用いて、幼児教諭免許取得者によりドローンという物の説明から、ドローンを活用してできること！などを子どもの目線にあわせた内容で展開。その後はトイドローンを使用して実際に子ども達自身で飛行させるという体験会を行っております。

昨年度は、幼稚園の先生 7名、年長児 108名 計 115名の参加者で2時間楽しい時間を過ごしております。

体験会後は、毎年、子ども達の生き生きとした明るい笑顔が見られ、楽しかった！の言葉も聞こえてきます。後日、先生より、園児の保護者より「ドローンについて家庭で話題になりました。」などのお話を聞いたりすると幼児期よりドローンをもっと身近に感じてもらおうという目的への達成感を感じております。また、次回はもっと楽しい体験会を計画しようとスタッフ一同、次の体験会に向けての研修を続けている毎日です。

今年は初めての試みなのですが、小学校でのプログラミング教育の必修化に伴い、プログラミング教育の導入を兼ねて、簡単なプログラミングの説明と実践を幼児に体験させるよう計画しております。

体験会の様子の写真を添付致します。



また、スクール独自のもう1つの活動としまして、長崎県という地域性をいかした活動を紹介いたします。

長崎県は農業も盛んであり、町おこしのためUターンする若者も増えるなか、省力化を実現する「スマート農業技術」の活用を推進しております。

当スクールでは、「スマート農業技術の活用」という目的のため、農業大学生へのドローン体験会を実施しました。次世代の農業をになう若者に向け、必要最低限のドローン飛行に関する基礎知識、及びドローン操縦技術を、当スクール JUIDA 認定講師及び農業用教育プログラム指導教官資格保持者による体験会を実施いたしました。昨年度は 36 名の農業大学生（農業大学先生含む）が体験されました。

体験後は時間のある限り、ドローンを操縦したいという学生が順番でドロ

ーン飛行を何度も体験し、アンケート調査票には 「卒業後は自営の果樹園でドローンを導入したい」「農業にドローンをもっと導入し、効率化をはかりたい」などの感想を見ることができました。

体験会に参加された学生が一人でも多くドローンへの関心を深め、次世代ドローンパイロットとして活躍されることを当スクールスタッフ一同願っております。

体験会の様子の写真を添付致します。

座学の様子



実技の様子



今回、ご紹介いたしました2つの体験会は今後も続けていこうと思っております。また、もっと違う年代の方々にもドローンというものについての理解を深め、もっと身近にドローンを感じられるような取り組みも考えていけたらいいなと思っております。

ドローンを身近に感じられたら、次は、当スクールへ来られるすべての方へ、ドローンを安全に飛行させるための多分野にわたる知識の修得、及び安全に飛行させる技術の修得を目指したスクール活動を常に念頭に置き今後のスクール活動を進めていきたいと考えております。

「JUIDA SCHOOL AWARDS2022」 スクール活動内容 応募資料

スクール名（法人名） ドローンテクノポート神戸・熊谷

（株式会社ミラテクドローン）

・タイトル

一子相伝ミラテクドローン安全対策

・応募内容要旨

ミラテクドローンの持ち株会社であるミライト・ワンの事業、通信建設工事で培った安全施策をドローン事業向けにリファインし、JUIDA スクールにおいて受講生へお伝えしております。本施策を他の JUIDA スクール様でもご活用頂ければと思い応募いたしました。

・アピールポイント

高所作業が多く、1つのミスが重大事故にもつながる通信建設業界における「高い安全意識」による経験や安全施策をドローン事業にも活用し、JUIDA スクールにおいても受講生へ「安全」に対する指導を実施しております。また、受講生が卒業後も、フライトの際に事故を起こさないよう KY（危険予知）活動など、安全施策を展開させていただいております。

審査基準である、以下の 5 つのポイントを意識して、アピールポイントを記入してください。1. 独自性／2. 先進性／3. 創意工夫／4. 受講者視点／5. 安全教育の視点

秘伝「一子相伝ミラテクドローン安全対策」



MIRATEC DRONE

他社スクールでは当然のリスクアセスメント&KY活動表以外にも、親会社の建設業界で培った **安全第一の精神** にてJUIDAスクールを運営しております。
秘伝の「**一子相伝ミラテクドローン安全対策**」をご紹介します。

其の一

- 研修前の機体チェック
- アプリ内でのステータス確認
- 研修時の周囲の確認
- 風速確認
- 周囲の状況確認

※**全て指差し呼称**で行います。



- **指差し呼称**の目的
指差し呼称は集中力を高め、「うっかり、ぼんやり」などのヒューマンエラーを防ぐのに非常に有効です。ドローン操縦の際に集中力が非常に必要となるため、ミラテクドローンでは指差し呼称しながらのチェックは受講生にもお伝えしております。

Copyright© 2022 by MiratecDrone Corp.

秘伝「一子相伝ミラテクドローン安全対策」



MIRATEC DRONE

ドローンテクノポート熊谷は国内気温日本記録を保有する熊谷市にあり、例年40℃にも到達するほどの気温を観測しております。そのため受講生、インストラクターの熱中症対策として、様々なひんやりグッズを用意しており、ドローンテクノポート熊谷でも安全に受講して頂けるよう努めております。一子相伝ミラテクドローン熱中症対策をご紹介します。

其の弐

- 塩飴、塩分チャージタブレット
- 冷感タオル
- 冷感スプレー
- クーラーボックス(スポーツ飲料付き)
- 経口補水液の常備
- タープテント
- スポットクーラー
- AEDの設置
- ヘッドキーパーの活用(頸部サポーター)
- ★ 受講中での熱中症対策として
 - ① 休憩をこまめにとる
 - ② 操縦が変わるタイミングで水分補給を促す
 - ③ 屋内での飛行演習を行う



Copyright© 2022 by MiratecDrone Corp.

「JUIDA SCHOOL AWARDS2022」スクール活動内容 応募資料

スクール名（法人名）那加ドローンスクール

・タイトル

寄り添う講習の拡充

・応募内容要旨

より満足度の高いスクールへ！ カリキュラム終了後、困っていることは？ 他に求めているものは無いのか？ 受講生の声を聞き講習を拡充しました。

・アピールポイント

ドローン購入後にぶち当たる壁を無くすため「アプリの見方設定方法」と「DIPS 飛行申請」を新設しました。特に高齢の方には外せない講習となります。
また「物件投下」を新設。立地的にほ場を持たれている方が多く特に要望が多かった講習になります。その他「空撮」「夜間目視外」など受講者側の視点で講習の拡充を行いました。
更に現在は完全英語コースの準備をしております。

審査基準である、以下の5つのポイントを意識して、アピールポイントを記入してください。1. 独自性／2. 先進性／3. 創意工夫／4. 受講者視点／5. 安全教育の視点

「JUIDA SCHOOL AWARDS2022」 スクール活動内容 応募資料

スクール名（法人名）（株）ホンダレインボーモータースクール

レインボードローンスクール埼玉

・タイトル

安全の架け橋となれるスクールを目指して

・応募内容要旨

- ・ドローンスクール終了後に追加講習の実施（任意）
- ・飛行会の開催

・アピールポイント

- ・JUIDA 認定校として、カリキュラムの実施はもちろんのこと、他スクールと差別化を図るため、スクール終了後に任意で追加講習を1～2時間程度実施しています。（すぐに実践できる内容を実施）
- ・卒業生の声を反映し、安全・安心して飛行できる場を提供しました（飛行会開催）
- ・卒業生との情報交換やコミュニケーションを図るなど、卒業後も気軽にご来場いただける雰囲気づくりを実践します。また、当スクール卒業生が事故やケガをなく、これからも安心して飛行を楽しんでいただける「安全の架け橋となれるスクール」として、アフターフォローも更に充実させていきます。

審査基準である、以下の5つのポイントを意識して、アピールポイントを記入してください。1. 独自性／2. 先進性／3. 創意工夫／4. 受講者視点／5. 安全教育の視点

追加講習(座学及び実技)の開催

ドローンスクールを卒業されるお客様には、これからも安全に飛行していただくために通常カリキュラムに加え、教材機を使用し下記の内容を実施しています。
(ただし、天候や会場の都合により変更もあります)

1. 高度な点検

- ・コンパスキャリブレーション(機体、プロポ)
- ・スティックキャリブレーション
- ・IMU キャリブレーション
- ・カメラジンバルキャリブレーション
- ・アプリケーション DJI アシスタントを使用したセンサーカメラのキャリブレーション

2. 高度なプログラム飛行

- ・アクティブトラック
- ・ポイントオブインテレスト
- ・タップフライ
- ・ウェイポイント などの代表的な機能の説明

3. シミュレーター機能の紹介など

開催時間は、1～2 時間程度。参加は任意ですが、ほとんどのお客様が受講されます。

卒業生を対象とした飛行会の開催

- ・旋回飛行の基本と8の字飛行
- ・立体的な飛行

◆きっかけ

卒業後は業務や趣味等で飛行される方もいますが、「ドローンは購入したけど飛行する場所がなくて困ってる」等、卒業生から声をききました。少しでも卒業生の皆さんに飛行する機会を提供させたいということがはじまりで、卒業生のみを対象とした飛行会を下記の条件に限り、令和4年4月から実施しました。

- ・天候不良等は中止となります。
- ・対象者は、弊社ドローンスクール卒業生でドローン(機体認証登録済み)を持参出来る方(貸し出しはありません)
- ・持ち物は JUIDA 無人航空機操縦技能証明証
- ・参加費は 0 円
- ・その他として

皆さんが安心して飛行会が実施できるよう飛行ルールに遵守していただく。

万一、第三者に対する危険を及ぼす行為等があった場合はその時点で終了。

また、人的・物的への損害等、飛行の際は個人責任の範囲でお願いした。

(個々の機体トラブルおよび、お客様同士のトラブルが発生しても弊社は一切責任を負わない旨案内に明記している)

などです。

参考までに現在の実績(開催数 2 回)

- | | | |
|-----------------|----------------------|---------|
| ① 4 月 29 日(金・祝) | 14:00~15:00 の 1 時間限定 | 参加者 3 名 |
| ② 8 月 26 日(金) | 〃 | 参加者 2 名 |

「JUIDA SCHOOL AWARDS2022」スクール活動内容 応募資料

スクール名（法人名）横浜ドローンアイティー・スクール

（ドローン・アイティー株式会社）

・タイトル

横浜ドローンアイティー・スクールのドローンパイロットのスキルアップに向けた活動と、協業活動によるドローンの認知度向上と啓蒙活動

・応募内容要旨

- JUIDA スクール活動への工夫（コロナ禍対応など）
- 修了生向けの独自施策（修了生の技量向上を目的）
- 独自講座（ビジネス的な視点育成）
- 自治体として初の JUIDA ドローンスクールの開校と運営の協業

・アピールポイント

- 1) コロナ禍においていち早く座学でのオンラインを実施し、事前学習に eラーニングを取り入れ受講生の事前学習後に、対面のオンラインで座学を実施し理解度向上に務める
- 2) 修了生向けに DIPS の講習会を定例（毎月）で実施し、一人でも多くの修了生が法律を遵守して許可承認の飛行を安全に実施できるように育成する
- 3) 修了後も飛行練習を実施し飛行経験を増やし安全な飛行ができるように、技量の向上の機会を提供する（当校の飛行場、山梨県早川町の合宿所の活用）
- 4) 神奈川県内の専門学校と協業し初のドローンを授業内容に取り入れた学科を新設し、学生向けの JUIDA 認定取得者の若いドローンパイロットの裾野を拡大する
- 5) 独自講座として、「空撮映像などの動画などの編集講座」、「ドローンプログラミング講座」、「ドローン×IT 特化コース」を新設して、ドローンの利用範囲を広げる教育を実施し受講者にビジネスとしてのドローン活用の習得を目指す
- 6) 自治体として初の JUIDA ドローンスクールとして、山梨県早川町と協業し、JUIDA 認定校の立ち上げと運営（講師派遣や運営アドバイス）の協力を実施し、自治体でのドローンパイロット育成に向けた先駆けとして事例となるよう活動している

審査基準である、以下の 5 つのポイントを意識して、アピールポイントを記入してください。1. 独自性／2. 先進性／3. 創意工夫／4. 受講者視点／5. 安全教育の視点

横浜ドローンアイティー・スクールのスクール活動について（2021年4月から2022年7月）

2022年9月1日

横浜ドローンアイティー・スクール（ドローン・アイティー株式会社）

1. スクール概要

当校は「ドローン・アイティー株式会社」を運営母体として、日本U A S 産業振興協議会(JUIDA)の認定を受けたドローンの操縦技能士と安全運行管理者の育成と認定証の付与、及び JUIDA 認定講師の育成と推薦を行うことができるスクールを令和元年8月20日に開校しました。

飛行場は JUIDA 認定にて使用する、屋内飛行場（上大岡飛行場）と屋外飛行場（小泉園）に加えて、石川エナジーサーチの農薬散布機体のアグリフライヤーの飛行場として山梨県早川町があります。

【実績】

- ・ 修了生：105名（2022年7月時点）
- ・ 認定講師：13名を推薦し全員取得
- ・ 社員の豊富な取得資格
 - ✓ JUIDA 認定 スクール講師
 - ✓ JUIDA 認定 無人飛行機 安全運行管理者
 - ✓ JUIDA 認定 無人飛行機 操縦技術士
 - ✓ DPA ドローン操縦士回転翼3級
 - ✓ Flight Pilot ドローン操縦士技能認定証（農薬散布機体）
 - ✓ アグリフライヤー ドローン操縦士（教官）（農薬散布機体）
 - ✓ 第三級陸上特殊無線技士

2. JUIDA スクール活動への工夫

① 座学をオンラインにて実施 ※一部ネット環境が整っていない受講生は集合研修

- ・ オンライン講義は、eラーニングと対面オンラインの2段階で実施

eラーニング

特徴1：受講生が視聴後に小テストを実施して理解度をチェック

特徴2：スマホやタブレットを活用しいつでもどこでも視聴可能

そのため、1動画を15分以内で作成

特徴3：受講状況をシステムで管理し、進捗や小テストの点数をチェックし、個人個人の理解度を見える化

対面オンライン

特徴1：重要な点(法改正部分、ロードマップなどの最新情報など)の集中講義

特徴2：テキストだけではわかりづらい点を図やビデオで説明

特徴3：少人数での受講で講師との距離を縮め活発なコミュニケーション(Q&A など)を目指す

② 自宅練習用にトイドローンを提供

- ・ 受講生は仕事をされている方がほとんどであり実技の間隔が空くため操縦技量の継続が不足
 - 自宅等での操縦用にトイドローンを受講生一人一人に提供し技量向上を実現
 - 終了後も自宅での技量継続として受講生が使用

3. 修了生向けの独自施策

① DIPS 説明会（修了生向け）

- ・ 国土交通省への許可・承認申請を web の申請画面を解説しながら修了生向けに開催
特徴 1：コロナ禍のため、オンラインでの受講も可能
特徴 2：人口集中地区上空、夜間目視外、30m 距離確保不可な包括申請を中心に
→ 法律を遵守した飛行を実施するように継続的に修了生の育成を実施

② 当校の屋外飛行場にて練習会を定期的実施（修了生向け）

- ・ 操縦技量の向上向け練習会には当校講師陣も参加し修了生へのレクチャーも実施
- ・ 資格取得後にドローンを飛行させる機会が少ない修了生のために毎月実施
→ 修了生同士や講師陣とのコミュニケーションが深まり更なる技量向上へ発展

③ 山梨県早川町にて合宿による実践的な操縦訓練

- ・ 講師と修了生を集め年に数回、合宿による操縦訓練と早川町の自然撮影を実施
→ 空撮の簡単な講義も実施
- ・ 夜間は懇親会を設け、ドローン談義やビジネスチャンスの発掘を行う

④ 専門学校向け JUIDA 認定コースの実施

- ・ 専門学校生向けに出張講義を実施（2022 年 3 月に JUIDA 操縦技能取得が 21 名）
特徴 1：神奈川県内初のドローンを授業内容に取り入れた学科を新設（2020 年度～）
特徴 2：専門学校でドローンが学べるのは神奈川県内初

4. 独自講座

① 空撮映像などの動画などの編集講座

- ・ 空撮映像や地上撮影映像の編集のアプリを使って編集する講座
特徴 1：講師は様々な場所での撮影映像を YouTube にアップしている実力者
特徴 2：講義に使用するアプリは無償版を対象にして手ごろに開始可能

② ドローンプログラミング講座

- ・ ドローンをプログラムで操縦する講座
特徴 1：講師は元 SE 経験者のため IT に関する豊富な経験や知見を持つ
特徴 2：小学生向け講座は、当校の近隣住民を対象に地域活性化を目指す
特徴 3：高校生向け講座は、ドローンの基礎知識や実際の操縦訓練も行い未来のドローンパイロット候補生として育成
特徴 4：社会人向け（新人研修など）は、DX とドローンをテーマの講座も用意
特徴 5：シニア向け講座は、当校の近隣住民を対象に地域活性化を目指す

③ ドローン×IT 特化コース

- ・ 顧客のニーズに合わせて 1 件 1 件個別のカリキュラムの講座
- ・ ドローンをプログラムで操縦する講座
特徴 1：ドローンスクールでは数少ない IT 技術を有したドローンの講師陣
特徴 2：現役のプログラム開発者による受託開発の豊富な実績
※クラウドでの開発、スマホアプリ開発、データ連携 など
特徴 3：独自のシステム開発の実績
→ ドローンパイロットの育成にとどまらない、幅広い教育を実現

4. 南アルプスドローンスクール(山梨県早川町営スクール)との協業

- ・ 南アルプスドローンスクールの開校を支援（2021年7月から開始）
 特徴1：自治体として初めて JUIDA ドローンスクール
- ・ 2022年4月22日に「南アルプスドローンスクール」を開校
 ※開校式のテープカットに、JUIDA 鈴木理事長、当社の代表も参加し盛大な式典
- ・ 2022年6月23日～26日に1期生の講習開始
 → 講師は当校から全員派遣し実質的な活動を開始

以上

「JUIDA SCHOOL AWARDS2022」スクール活動内容 応募資料

スクール名（法人名）

能登七尾ドローンスクール（有限会社七尾自動車教習所）

・タイトル

未来のドローンパイロット育成を見据えて

・応募内容要旨

県内の高等学校の高校生を対象に、現在のドローン業界の状況、ドローンを飛行させる際のルール、ドローンの利用用途、今後のドローン業界の発展等を講座や飛行体験を通じて理解してもらい、身近なものに感じてもらう。

・アピールポイント

星稜高等学校は大学まで一貫校であり、高校生を対象に自分の職業観を育み、そこから逆算して大学での学びを想起させることを狙いとした土曜授業を行っている。その場を活用してもらい、これから様々な分野で急速な発展が予想されるドローン業界について若年層に伝えていきたいと思った。

生徒全員参加ではなく、希望者のみ募ったが予想を大幅に超える人数となり急遽2回に分けて実施することになった。後日集計したアンケート結果により概ね好評な結果で、少しでも若年層へのドローンの安全な飛行の方法の周知であったり、自身の将来への可能性を感じて貰えたのではないかと思う。

審査基準である、以下の5つのポイントを意識して、アピールポイントを記入してください。1. 独自性／2. 先進性／3. 創意工夫／4. 受講者視点／5. 安全教育の視点

星稜高校土曜講座(GPS)報告書

1. 日時 2021年5月29日(土) 8:45~9:15
2. 場所 星稜高等学校第一体育館
3. 参加人数 講師:4名(泊谷・吉田・山岸正・堂谷内)
生徒:31名

座学・体験会を2グループに分け前半・後半の総入れ替えで行うため、移動の時間も予定していたが大型パネルを設置してくださり、全て体育館の中で行うことができた。



初めてドローンを触ることになるため、まず操作の注意点とレバーと機体の動き方を説明し、デモンストレーションから行う。

その後、2グループに分け講座をスタートするが、すぐそばで体験会を行っているため座学に参加している一部の生徒はソワソワとして座学に集中できない様子だった。

体験会での動作内容を決めていったが1人にかかる時間が長く、30分で終わることができずに途中からやり方を少し変えながら前半を終える。

後半の座学では先に体験会を済ませた生徒が参加しているためおおよその生徒はうなずいたりアクションを見せながら参加してくれた。



後半の体験会はスムーズに行うことができたが、最終的には当初の60分の予定を大幅に超え90分かかってしまった(星稜高校側には事前に60分を少し超えるかもしれない旨を伝えてあった)

次回は10月23日を予定しており、星稜高校より8:45~10:45に設定しておくとの連絡があり、次回は時間配分に考慮したいと思う。



生徒アンケート回答結果

日 時 2021 年 5 月 29 日 (土) 1 限

講座名 ドローン操縦体験会

担 当 能登七尾ドローンスクール

1. 参加した講座の感想について教えてください。

印象	回答数	割合
非常に良かった	11 名	64.7%
良かった	6 名	35.3%
どちらとも言えない	名	0.0%
良くなかった	名	0.0%
期待していたものと相違があった	名	0.0%

計 17 名

2. 参加した講座の内容をまとめ、参考になったこと、感じたことなどを記載してください。

- ・ドローンは今後の日本のために、既に利用することを考えてあることがわかった。自分もこれからの生活のためにドローンで物を届けに行ったりするのはいいことであると思った。ドローンを飛ばすのは調整が難しいのかと思っていたけど、とても簡単に操作できたものだからびっくりした。
- ・実際に操縦できた。滅多にできない体験だった。
- ・これまでドローンを実際に見たことはあるけど、操縦はしたことがなかったので楽しかった。
- ・ドローンをうまく応用することでこれからの社会をよりよくしていくことが出来るということを知った。しかし、使い方を誤れば大事故を招く可能性があるため注意して扱う必要があるということも知った。ドローンの操縦は意外と簡単だった。
- ・ドローンは最近よくニュースや新聞などで目にする様になってきたが、自分が知らないいろんな場面で使われていると知れて良かった。これからますますドローンだけでなく、様々な先端技術が社会に普及していく。そういったものを使える人間になりたい。
- ・ドローンについてわかった。150m 以上飛ぶと航空法違反になるとはじめて知った。
- ・初めてドローンを操縦した。すごい高価なものだと聞かされていたから触るのが少し怖かったけど、楽しかった。

- ・めったにできないドローンの操縦体験ができてとても楽しかった。ドローンの使い道は、空撮や配達などしか思い浮かばなかったけれど、農薬の散布など本当に便利で良いものだったと思った。けれども、ヘリにぶつくと大きな被害が出るので、ルールを守れる人に使ってほしい。
- ・初めてドローンを操縦しました。ドローンの名前の由来が蜂からきているということを初めて知りました。また、確かにドローンを使うことで便利になるけど、ドローンを飛ばすことで事故が起きる危険性もあることが分かりました。ドローンの操縦は初めてだったけどとても楽しかったです。
- ・ドローンを初めて操縦したのでかなり楽しかったです。けど危険もあることも分かったのでもし今度操縦することがあったら気をつけたいです。便利なこともあるので配送業にも役に立っていけるように普及して行ってほしいです。
- ・実際にドローンを操縦してみて、とても難しかった。また、来年に国家資格になることが初めて知れたので良かった。
- ・ドローンの操縦の仕方を学ぶことができ、ドローンにも免許があることを知れてよかったです。
- ・前半はドローンについての座学をした。この名の由来は蜜蜂からきているらしい。ラジコンはすべて手動なのに対して、ドローンは自動制御できるという違いがある。ドローンを運転するには資格が要り、運転できる所も決まってる。つまりは車と似たようなものである。ドローンによる事故はあり、4年前に石川県でもあった。その時はヘリにぶつかりそうになったらしい。ぶつかったときのCG映像を見たが、その事故から二次災害的に事故が起こっていた。今後日本はドローンを産業面で使っていくという。アマゾンや楽天は運搬実験をしていて近い将来こうなっていると面白そうだ。農薬散布用のドローンを見たがかなりでかい。本当に車と似ているなと思った。

後半はドローンの操縦体験をした。アシストがあったとはいえかなり簡単だと思った。ドローンとドローンの映し出す映像を見てゆっくり運転をしていけば何ら問題もなかった。しかし、こんなものが町中を飛び回っていたら危ないとも思った。まだ実用化が進まないのはそういうところにもあると思った。

「JUIDA SCHOOL AWARDS2022」 スクール活動内容 応募資料

スクール名（法人名）

エックス・ワン株式会社 ドローン X アカデミー

・タイトル

未来をドローンの町へ

・応募内容要旨

受講期間だけで終わらず、卒業してからがお客様との関係を深めるスタートという想いで、スタッフ一同活動しております。

・アピールポイント

座学・実技講習時に弊社での事故教訓を写真や動画にて共有し、飛行の危険性や安全な飛行運用を一番にお伝えしております。受講生からの意見や希望を取り入れ、定期的に社内での勉強会を実施し、現状の把握から内容変更を行いより良い講習内容を心掛けております。卒業生にはドローン X 独自のグループ LINE に登録して頂き、様々な情報提供や業務へのご協力など、お客様とのより良い関係性の構築を一番に考えております。

審査基準である、以下の 5 つのポイントを意識して、アピールポイントを記入してください。1. 独自性／2. 先進性／3. 創意工夫／4. 受講者視点／5. 安全教育の視点



JUIDA SCHOOL AWARDS 2022

ドローンXアカデミー下関校

活動方針

開校3年目になり卒業生の人数も増え、卒業生対象イベントの開催やビジネスマッチングという形で業務へのご協力など、卒業生との繋がりを大切に運営しております。また、無料体験やドローン飛行体験イベントなどドローン操縦未経験の方でも気楽に触れる事の出来る環境作りを心掛けて、地域密着「未来をドローンの町へ」をモットーに日々活動しております。

自校独自の取り組み

受講生には修了時にドローンX専用LINEグループに登録して頂きます。発信内容は

- ・イベントの告知
卒業生対象BBQ大会・新機種飛行体験会・
巖流島フォトコンテスト・追加飛行講習会など
- ・ビジネスマッチング
農薬散布補助・イベントスタッフ・
ドローンX資料空撮など
- ・飛行練習会（卒業生からの希望により）
講習内容からステップアップ講座・
より実践に近い空撮講座など
- ・ドローンXニュースレター（月に一度）
ドローンXの活動紹介・ドローン業界の動き・
おすすめ機体のご紹介・今後の展望など
など、様々な情報を発信し卒業してからが
スタートという考え方で関係性を深めております。

昨年からスタートした、お子様向けドローン+プログラミング+英語教室を開校しました。スクール受講生のお子様は勿論、市内地域の小学生が楽しくドローンやプログラミングに触れ、他には無い英語でのレッスンをしております。夏休時期には、サマーテックキャンプと題して、親子で参加できるお子様の自由研究のお手伝いとして、日頃のレッスンとは違った内容で開催し多くの方が参加されました。

講習カリキュラム

無人航空機操縦士 & 安全運航座学

受講生の方達にはドローンの知識や技能の習得は勿論、自校で発生したトラブルや事故を実体験者のスタッフが写真や動画にて、危険性のリスクや判断のエビデンスをお伝えしております。その後の運用体制の教訓や、より安全飛行に対する心構えやリスクの重みを学んで頂ける内容となっております。

無人航空機操縦士屋外講習

ドローンX独自の講習チェックシートを元に、飛行前点検・飛行中確認・飛行後点検を繰り返し実施し、事故に対するリスク軽減策を重点的にお伝えしております。希望者には講習機以外の機体を使用し空撮やフリー飛行を体験して頂き、操作感の違いや購入機選定のアドバイスも行っております。補助講師は、受講生の癖や苦手な項目を別エリアで重点的に補講を行い、確実に飛行試験の合格を目指して頂いております。

無人航空機操縦士屋内講習

屋内と屋外の機体制御の違いや、目視外飛行・夜間模擬環境飛行など屋外講習での目視内飛行からなぜ目視外飛行は国土交通省への承認が必要か、何に注意して夜間飛行を行うのか、なぜ繰り返し飛行訓練が必要かなど、あらゆる危険性を想定した操縦講習を行っております。



ドローンX

自校独自の取り組み

ドローン+プログラミング+英語教室は、小学生から中学生までを対象に入門コースとSTEM年間コースの2コースをお客様にご案内し、まずは入門コースからおすすめしております。

今後は、より内容と対象年齢の幅を広げたレッスンも検討中です。

無人航空機操縦士の講習修了時・プログラミング教室修了時には、それぞれのアンケートにお答え頂き講習内容に対しての率直なご意見・ご要望など、お客様からお寄せ頂く「声」を貴重な情報として社内共有し、現状の把握から今以上に受講生の方達に期待以上の満足感を得て頂けるよう取り組んでおります。

ホスピタリティを1番に考え、ドローンXを受講して良かったと1人でも多くの方に思ってもらえるよう日々精進しております。

また、下関市との提携や県内消防関係からの要請もあり、特別飛行講習の開催や災害時での救済活動など地域と密な関係性を構築し、いつ出動要請があっても迅速な対応が出来るよう、体制作りを心掛けながら業務に励んでおります。

